

例文「夏の」「きらきら」と「など」のように、主語や述語の意味を詳しく説明している（修飾している）文節を修飾語といい、「太陽が」「ひかる」などのように、詳しく説明される（修飾される）文節を被修飾語といいます。修飾語・被修飾語は文節のはたらきのなまえです。答えるときは文節単位で答えます。（例×太陽 ○太陽が）

例 夏の 太陽が きらきらと かがやく。

きらきらと 水玉が ひかる。

問 次の文の 部のことばを修飾している文節を（ ）に書き抜きなさい。

- 1 わたしは 教科書を 忘れた。 ()
- 2 兄が 白い ぼうしを かぶる。 ()
- 3 静かな 波が 打ちよせる。 ()
- 4 あした、おばが 来る。 ()
- 5 空を 雲が おおう。 ()
- 6 彼は 今日も 元気だ。 ()
- 7 あたたかい 春が やってきた。 ()
- 8 めだかを ガラスの びんに 入れた。 ()
- 9 きノウ、借りた 本を 読む。 ()